

関節エコーハンズオンセミナー
スキルアップコース
ビギナーコース

関節エコーハンズオンセミナー 第3会場

9:30～12:30

スキルアップコース

関節リウマチの診療においては、手指や手関節・足趾といった小関節以外にも肩関節などの大関節に症状がみられることは多々あります。特に高齢者の肩関節痛などは腱板断裂などの変性疾患との鑑別も重要になってきます。しかし、肩関節は解剖学的な構造が複雑で理解が難しいため、エコーの撮像手技に自信がない方も多いのではないのでしょうか。スキルアップコースでは、手指や手関節などの撮像ができる方を対象に、撮像の比較的難しい肩関節や足関節を中心にハンズオンセミナーを行います。

また、近年では乾癬性関節炎や脊椎関節炎と関節リウマチの鑑別もエコーを用いることの有用性が高まっており、関節エコーでの付着部炎の撮像手技も重要な手技となっています。さらにエコーガイド下関節注射についても習得できれば診療の幅が非常に広がります。スキルアップコースでは付着部炎の撮像手技および関節穿刺の実際についても行っていきたいと思います。エコーが上手になりたい人は是非参加してください！

スキルアップコース講師（予定）

医師	中林 晃彦	国立大阪南医療センター
医師	辻聡 一郎	辻内科医院
医師	山田 啓貴	神戸大学
医師	千藤 荘	神戸大学
医師	吉川 紋佳	大阪医科薬科大学
医師	和田 誠	京都府立医科大学
医師	安部 武生	兵庫医科大学
医師	真本 建司	大阪公立大学
医師	三崎 健太	北播磨医療センター

関節エコーハンズオンセミナー 第3会場

14:30～ 17:30

ビギナーコース

関節エコー検査は現在の関節リウマチ診療において必須のツールとなっています。患者さんの関節を実際に触って腫れや痛みを診察することはもちろん重要ですが、実際にエコーでの滑膜炎の活動性を合わせて評価することで、よりの確な診療ができます。しかし、関節エコー検査は、機器の設定や検者の撮像技術によってその結果が変わる可能性のある検査であることも事実であり、適切な撮像技術を習得することはとても重要です。コロナ窩で関節エコーのハンズオンセミナーは激減していた状況を鑑み、今回も本学会にてハンズオンセミナーを開催させていただきます。

ビギナーコースでは関節エコーのポテンシャルを最大限に引き出すために重要な、プローブの周波数やグレースケールおよびパワーブラのゲインやフォーカスなどといったエコーの基本的な設定についての理解と関節リウマチで必須となる手指・手関節・足趾などの小関節を中心とした撮像手技の習得を目的として行います。医師のみならず看護師・技師のみなさんにご参加いただけますと幸いです。未経験者大歓迎です。是非ご参加ください！

ビギナーコース講師（予定）

看護師	岡田 めぐみ	しんとう整形外科リウマチクリニック
看護師	野口 郁代	おだ整形外科リウマチクリニック
技師	吉田 祐子	大阪公立大学 中央臨床検査
技師	堂前 有加	大阪公立大学 中央臨床検査
医師	渡邊 あかね	大阪大学
医師	石川 那智	第二警察病院
医師	野崎 祐史	近畿大学
医師	岡野 匡志	大阪公立大学
医師	原 良太	奈良県立医科大学